

東京理科大学理学部第一部応用化学科 教員公募要領

1. 公募人員	教授、准教授または講師（1名）
2. 任期	定年制（65歳となる年度の末日）
3. 所属	東京理科大学理学部第一部応用化学科
4. 勤務地	雇入れ直後：東京理科大学 神楽坂キャンパス 変更の範囲：法人の定める場所
5. 業務内容	雇入れ直後：専攻分野についての学生の教授、その研究の指導、及び研究に当たる 但し、上記以外の業務を命ずることがある 変更の範囲：法人の定める業務
6. 専門分野	広い意味での無機化学・固体化学・分析化学
7. 担当予定科目	無機化学および化学実験等
8. 着任日	2026年4月1日
9. 応募資格	博士の学位を取得している方。学部と大学院の教育（学生実験、研究室の卒研究生・大学院生の研究指導）、研究、学科の運営に熱意をもって取り組んでいただける方。独立した研究室を主宰し、独創的かつ最先端の研究を学部生・大学院生とともに推進できる方。
10. 提出書類	<p>(1) 履歴書（本学指定様式を使用すること。）（PDFファイル） https://tus.box.com/s/416c0pxqsa8ev5tdkfhsn2lry3kddtws</p> <p>(2) 教育研究業績書（PDFファイル） ※ 原則として、以下の記載方法に整えること。 (ア) 発表年降順に記載すること。 (イ) 連名・共著の場合は、記載順に全員の氏名を記載すること。但し、連名・共著者が多い場合は少なくとも第1 著者名、他何名と記載し、自身が何番目の著者か分かるように記載すること。 (ウ) コレスポンディング・オーサー(責任著者)にアスタリスクをつけること。 (エ) 自身の氏名にアンダーラインを引くこと。</p> <p>1. 査読付原著論文（外国語・日本語を区別し、DOIを記載すること。） 2. 査読付プロシーディングス（外国語・日本語を区別すること。） 3. 著書、訳書 4. 査読のない論文、解説、その他出版物 5. 特許（登録・公開・出願中等に分類して記載すること。） 6. 外部研究資金獲得状況（代表・分担を区別し、研究期間や研究経費等を記載すること。） 7. その他特記事項（受賞歴、招待講演、学会・社会における活動実績等を記載すること。）</p> <p>(3) 主要原著論文 5編の別刷（PDFファイル） (4) これまでの研究の概要と採用後の研究計画（A4用紙 3枚以内）（PDFファイル） (5) これまでの教育活動の実績や今後の抱負（A4用紙 1枚以内）（PDFファイル） (6) 学位記の写しまたは学位取得証明書（PDFファイル） (7) 応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先等（PDFファイル） （氏名、所属・職位、メールアドレス、電話番号、照会可能者との関係） ※ 照会可能な方の2名の推薦書をお願いする場合があります。この場合は別途ご連絡いたします。</p>
11. 応募締切	2025年7月22日(火曜日)まで
12. 書類提出先・問い合わせ先	提出先：以下の応募フォームからご提出ください。 応募フォーム： https://tus.qualtrics.com/jfe/form/SV_9uA7WviviF0Pcto 問い合わせ先：東京理科大学理学部第一部応用化学科主任 古海 誓一 furumi(at)rs.tus.ac.jp 【注】(at)は@に置き換えてください。
13. その他	<ul style="list-style-type: none"> 本学及び学部・研究科等の求める教員像及び教員組織の編成方針を以下URLからご確認ください。 https://www.tus.ac.jp/about/university/editorial_policy/ 東京理科大学では、女性人材を積極的に育成、活用し、活躍を支援する大学となることを目標としています。女性の積極的な応募を期待します。 女性教員活躍支援のための方策（妊娠・出産なさった方、育児・介護等に取り組む方へ、仕事との両立を支援する各種制度等）について以下URLよりご確認ください。 ダイバーシティ推進会議：https://www.tus.ac.jp/tcw/ 東京理科大学では、本学に採用されて間もない教員に対して、個々の研究環境の整備と、研究活動の活性化を図ることを目的とした「研究室スタートアップ経費支援制度」を実施しています。 研究目的での海外の大学や研究機関への一定期間の滞在を支援する「在外研究員制度」を実施しています。 東京理科大学キャンパス内は指定場所以外、禁煙となっております。 https://www.tus.ac.jp/tuslife/campuslife/academy/nosmoking/ 面接に伴う交通費等は、応募者の自己負担となります。